

平成30年度 学校配布資料

学校を核とした地域づくり ～地域学校協働活動の推進～



熊本県統括コーディネーター〔八代・芦北・球磨〕 浅野 一登
検索:開かれた学校の応援ホームページ

開かれた学校の応援
ホームページ



小(中)学校学習指導要領前文 中心部分を抜粋

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながらか、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

学習指導要領とは、こうした理念の実現に向けて必要となる教育課程の基準を大綱的に定めるものである。学習指導要領が果たす役割の一つは、公の性質を有する学校における教育水準を全国的に確保することである。また、各学校がその特色を生かして創意工夫を重ね、長年にわたり積み重ねられてきた教育実践や学術研究の蓄積を生かしながら、児童(生徒)や地域の現状や課題を捉え、家庭や地域社会と協力して、学習指導要領を踏まえた教育活動の更なる充実を図っていくことも重要である。

児童(生徒)が学ぶことの意義を実感できる環境を整え、一人一人の資質・能力を伸ばせるようにしていくことは、教職員をはじめとする学校関係者はもとより、家庭や地域の人々も含め、様々な立場から児童や学校に関わる全ての大人に期待される役割である。

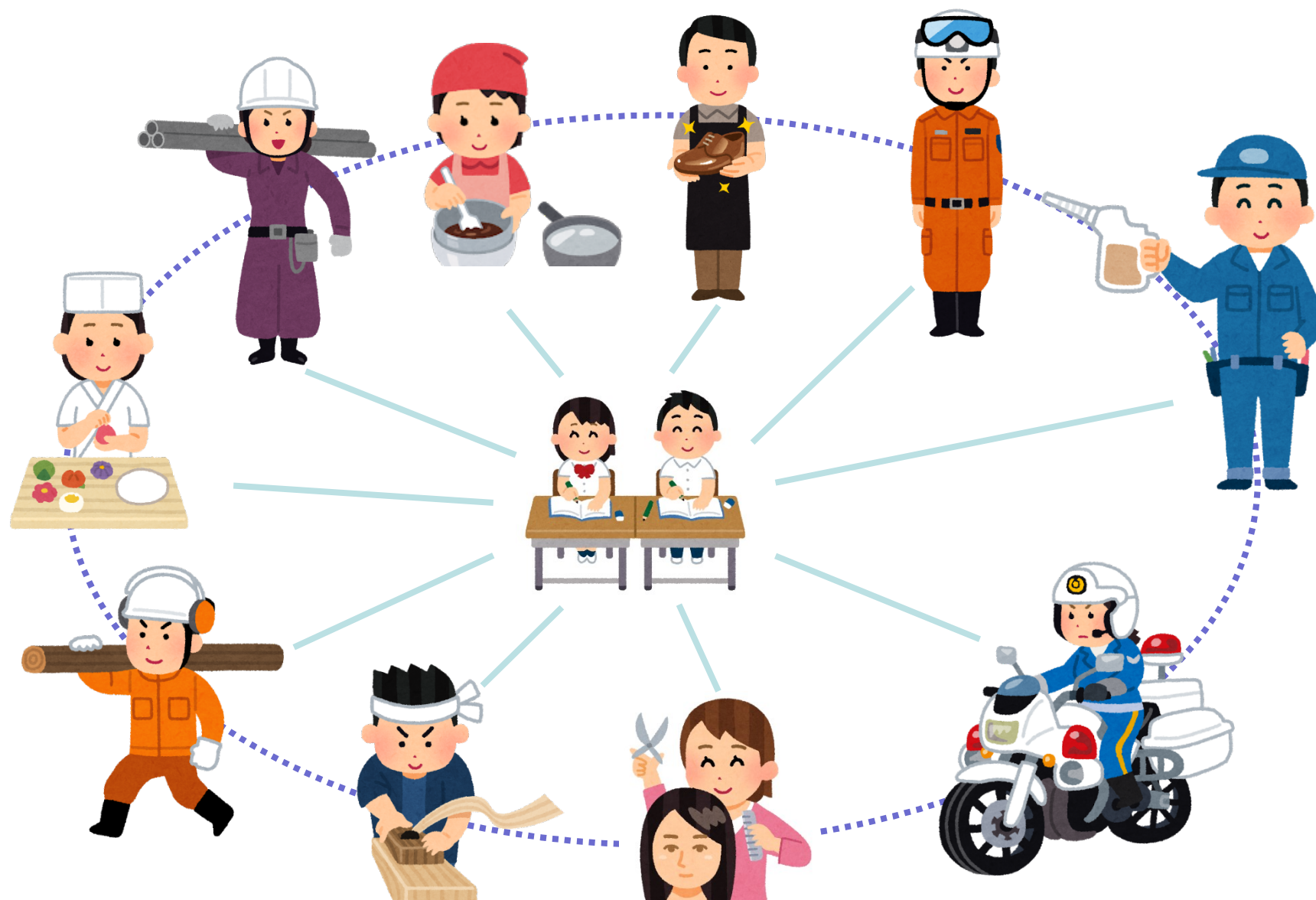
これからの時代に求められる教育の実現

- 自分のよさや可能性を認識
- あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え
- 豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる



- 「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を学校と社会が共有
- 社会に開かれた教育課程
 - ・ 必要な学習内容
 - ・ どのように学び = 社会との連携及び協働により
 - ・ どのような資質・能力
- 全ての大人に期待される役割

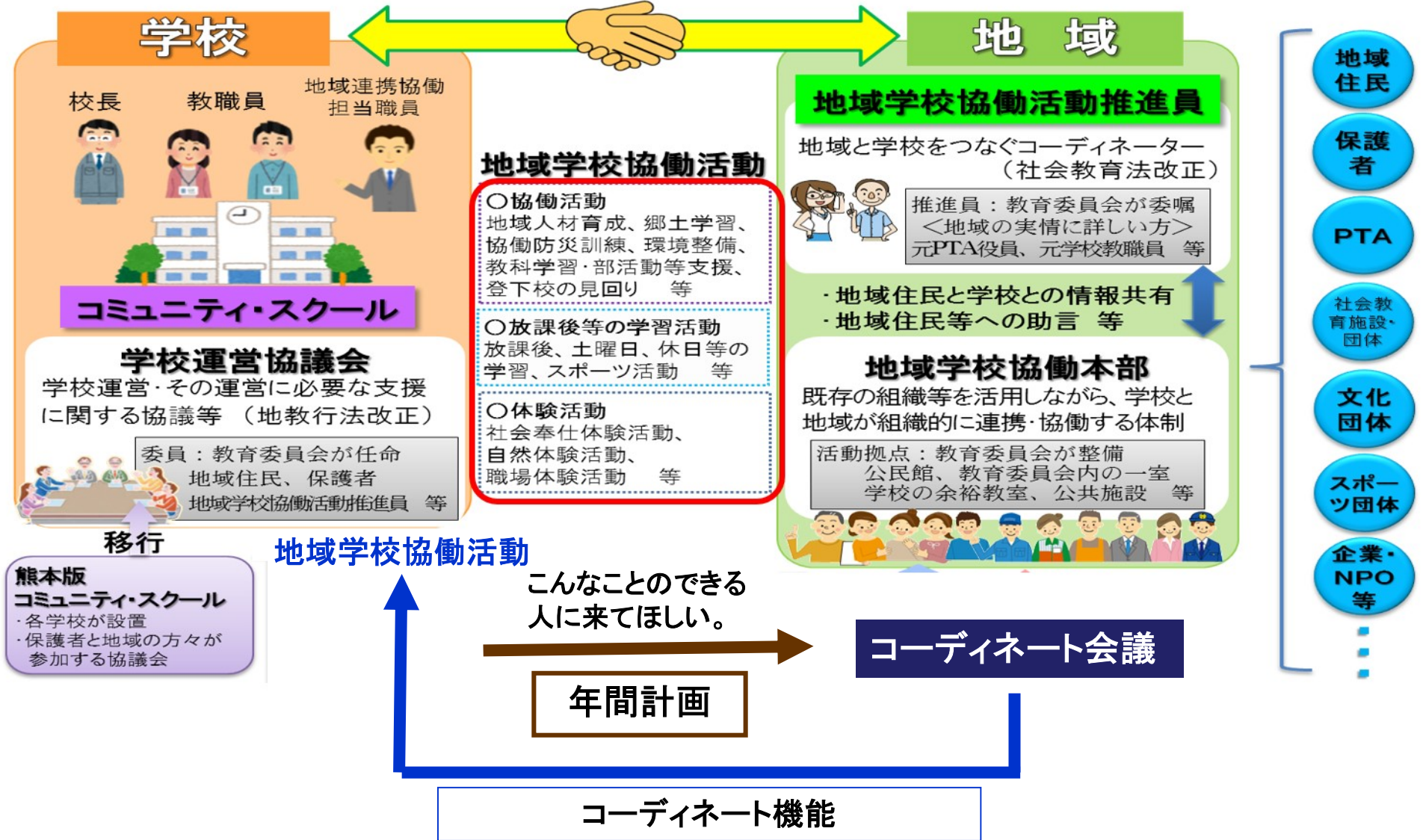
子供たちと地域の皆さんとの「つながり」



学校に集うことで地域の皆さん同士もつながります

これからの学校の仕組み（コーディネート機能）

熊本県が推進する「地域と学校の連携・協働」の姿



〇〇小学校地域学校協働活動年間計画案(例)

平成△△年度〇〇市立〇〇小学校地域学校協働活動年間計画案

学校電話 〇〇-〇〇〇〇

月	日	事 項	学校 担当者	支援内容と人数	コーディネーター		
					引受団体 or 個人	担当者	連絡先(電話など)
5	14	町探検2年	浅野	講師1人 引率補助6人	商工会	田崎優一	〇〇-〇〇〇〇〇
5	21	町探検3年	田代	講師1人 引率補助6人	市役所	谷口麻里子	〇〇-〇〇〇〇(内)〇〇〇〇
6	3	プール掃除5・6年	山下篤	清掃・指導補助10人			
6	5	避難訓練	伊藤	消防署員	消防署	安田圭一	〇〇-〇〇〇〇〇
7	7	七夕集会(お年寄りとの交流)	佐藤	お年寄りを招待	太陽の家	谷口陽子	〇〇-〇〇〇〇〇
9	9	川探検3年	田代	講師1人 引率補助6人	元教師	浅井弥生	〇〇-〇〇〇〇〇
9	14	家庭科(リョクソク)6年1組	高橋	ミシン指導補助6人			
9	14	家庭科(リョクソク)6年2組	高橋	ミシン指導補助6人			
9	28	運動会準備	山下篤	準備手伝い10人以上			
9	29	運動会	沖田	駐車場整理5人			
9	29	運動会片付け	山下篤	片付け手伝い20人以上			
10	17	家庭科(ランチョンマット)5年1組	石井	ミシン指導補助6人			
10	17	家庭科(ランチョンマット)5年2組	石井	ミシン指導補助6人			
10	18	町探検2年	浅野	講師1人 引率補助6人	市役所	田畑 稔	〇〇-〇〇〇〇〇
10	24	市陸上記録会6年	白浜	引率補助安全管理6人			
11	21	ブロック別球技大会5年	高見	引率補助9人程			
11	28	校外学習3年	田代	引率補助6人程			
12	14	学習成果発表会	沖田	駐車場整理6人程			
12	15	町探検2年	浅野	講師1人 引率補助6人			
12	20	米麦大豆料理教室5年	石井	講師1人 指導補助6人			
1	18	持久走大会	山下篤	コース安全見守り9人			
2	28	お別れ遠足	木下	引率補助6人 安全指導4人	交通指導員	山本悟志	〇〇-〇〇〇〇〇
3	1	算数(そろばん)3年1組	高橋祐	講師1人 指導補助6人			
3	1	算数(そろばん)3年2組	高橋祐	講師1人 指導補助6人			
3	23	卒業式準備	高橋祐	花生け2人			
4	8	入学式準備	高橋祐	花生け2人			
4	22	交通安全教室1～4年	中田	指導補助10人	交通指導員	山本悟志	〇〇-〇〇〇〇〇
5	2	お見知り遠足	石井	引率補助安全管理9人			

[年間または一定期間]

期間	事 項	担当者	支援(内容人数)	コーディネーター		
				引受団体 or 個人	担当者	連絡先(電話など)
朝夕	危険箇所交通指導	中田	交通指導8人	老人会	松中隆一	〇〇-〇〇〇〇〇
朝夕	青バト	本多	青バト登録者4人	交通指導員	山本悟志	〇〇-〇〇〇〇〇
年間計画	樹木・花の管理	山下一	園芸の好きな方10人	祖父母の会	鈴木輝光	〇〇-〇〇〇〇〇
月3回	職員会議等の時間の見守り	高橋和	児童の見守り15人以上			
木曜放	低学年の放課後学習	高橋祐	〇付け先生5人以上			
週3日	部活動	山下篤	バレー・サッカー・卓球のコーチ	(バ) (サ) (卓)		
週1回	読み聞かせ	磯部	本の好きな方15人以上	あすなろ会	白石のり子	〇〇-〇〇〇〇〇
昼夕	図書室の管理運営	的場	本の好きな方2人以上	あすなろ会	白石のり子00-0000	山元靖子00-0000
5-11月	ぼんべいゆ栽培4年	田中	栽培指導4人	JA	安藤 勲	〇〇-〇〇〇〇(内)〇〇〇〇
5-11月	稲づくり(田植え)5年	石井	栽培指導4人	JA	安藤 勲	〇〇-〇〇〇〇(内)〇〇〇〇
5・6月	自転車大会(&練習)6年	中田	指導5人	交通指導員	山本悟志	〇〇-〇〇〇〇〇

「社会に開かれた教育課程」の作成・・・(例)郷土学習

平成〇〇年度〇〇町〇〇校区郷土学習全体計画案

1 目的

地域との連携や地域人材を活用した地域学校協働活動を通して、体験活動を重視した学習を展開することで、古里を知り、古里について考え、古里に誇りを持った心豊かな子どもたちを育成して、将来の自己の生き方を考えて行く学習とする。

2 身につけさせたい力 (資質・能力)

- (1) 〇〇町の伝統と文化を尊重し、郷土に誇りを持ち、郷土を愛する人材の育成
- (2) 広く世界を視野に入れたグローバルな人材を育成
- (3) 起業家精神に富み、自身や地域の未来を切り開く人材の育成

3 是非、学ばせたいこと (学習内容)

川体験 山体験 農業体験 観光体験 林業体験 職場体験 福祉体験 起業体験 海外の文化に触れる体験 英会話体験 町の課題に気づき未来を創造する学習 多くの地域学校協働活動

例) 生活科 総合的な学習の時間 特別活動 道徳 各教科

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
テーマ	学校 家庭 地域 人 社会 自然 生活 自分自身	学校 家庭 地域 人 社会 自然 生活 自分自身	校区の 仕事	町の 福祉	町の 仕事	起業 体験	町の 課題?	町で 生きる	町の 発展	
方法	生活科	生活科	見 学 視 察 調 査 記 録 考 察	見 学 視 察 調 査 記 録 考 察	見 学 視 察 調 査 記 録 考 察	見 学 視 察 調 査 記 録 考 察	調 査 課 題 把 握 研 究 体 験 方 案 検 討	調 査 見 学 視 察 調 査 記 録 考 察 検 討	調 査 見 学 視 察 調 査 記 録 考 察 検 討	
まとめ			↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
発表			紙面 と ス テ ー ジ 発 表	紙面 と ス テ ー ジ 発 表	紙面 と ス テ ー ジ 発 表	紙面 と ス テ ー ジ 発 表	資料 & ス テ ー ジ 発 表	資料 & ス テ ー ジ 発 表	資料 & ス テ ー ジ 発 表	
協働者 (役場)	す べ て の 課	す べ て の 課	総 務 課 農 林 課	町 民 福 祉 課	総 務 課 農 林 課	総 務 課 農 林 課 企 画 観 光 課 町 民 福 祉 課	す べ て の 課	す べ て の 課	す べ て の 課	
(個人)	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇	〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇
	(踊・舞・技能など) 文化の継承									
	校区の歴史と文化			町の歴史と文化						
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	

コミュニティ・スクールの
〇〇協議会で話し合い

教育課程の作成

総合的な学習の時間を中心に
年間35時間程度
(先進的な学校を参考に)

地域学校協働活動